

「町営温泉 水と緑のふれあい館」と周辺の花めぐり



○金沢ヘメロカリス（金沢・出牛）

ヘメロカリス（7月上旬～下旬）

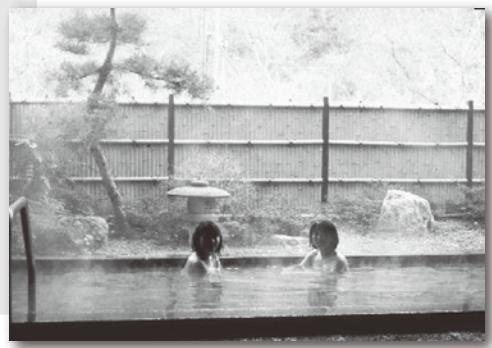
夏の香りを漂わせるヘメロカリスは、美しく涼しげな風景を描き出します。

*開催中の「みんなのみなの花めぐりスタンプラリー」のスタンプ設置場所になっています。ほかの設置場所とあわせ、スタンプを集めて賞品（町の特産品など）を当てましょう！

美しい花を愛でて、「眼」に良い事をした後には「町営温泉 水と緑のふれあい館」で入浴され、「身体」にもご褒美をあげてはいかがですか？

○水と緑のふれあい館

- ・営業 午前10時～午後8時
- ・休日 火曜日（祝日の場合は営業）、年末年始
- ・料金 大人500円、小人300円、就学前の幼児は無料
- ・効能 糖尿病、神経痛、筋肉痛、慢性皮膚病、慢性婦人病、冷え性など
- ・食事 手打ちうどん・そば、舞茸天ぷら定食など
(団体での食事、宴会も承ります。要予約)



問合せ 水と緑のふれあい館

☎62-5227

兜太先生のふるさと投句 第四回 特選・入選作品決定

選者 秩父郡市俳句連盟会長 金子 千侍 先生

特選句 秩父路や遍路の列に涅槃西風

講評

秩父札所は板東、西国に次いで百觀音となる結願寺（三十四番）があります。室町初期からの深い觀音信仰は今日も尚、秩父の札所路に列なしで沢山のお遍路さんの姿が見られます。作品はその時、思わず強い涅槃西風（二月十五日釈迦入滅の日吹く西風）に吹かれたのです。お釈迦様の慈愛に満ちた有難い、西風でした。

大氷柱ここは秩父のどんづまり

講評

極寒の奥秩父の情景が、「どかんと」、やや乱暴に併し、新鮮に実写されました。県境の山脈の根っここの処を「秩父のどんづまり」と表現されたことも大氷柱の見事さを増幅させます。十七語で詠まれた新しい嚴冬秩父の觀光スポットです。

山眠る山の総名を奥秩父

講評

長野、山梨、秩父との県境との山々は二千米級の容姿を誇っています。併し、作者の見詰めている山脈は、今、閑かに深い眠りにありました。この偉丈夫な山々達。「奥秩父」というのは正に、この総称を云うのだと。独り感概深く頷いていたのでした。

鴻巣市 齋藤千鶴子
滑川町

木村 香雪

鴻巣市 齋藤千鶴子
滑川町

木村 香雪

横浜市 篠原 広子
藤沢市 藤原 裕
新座市 神谷 章夫
久喜市 辻戸 節子
皆野町 鎌山藤右エ門
小鹿野町 原島 勝子
秩父市 中村つね子
皆野町 神谷 章夫
深谷市 設楽 キマ
栗原 茂次
柴崎 幸雄

横浜市 篠原 広子
藤沢市 藤原 裕
新座市 神谷 章夫
久喜市 辻戸 節子
皆野町 鎌山藤右エ門
小鹿野町 原島 勝子
秩父市 中村つね子
皆野町 神谷 章夫
深谷市 設楽 キマ
栗原 茂次
柴崎 幸雄

入選大人の部

- 芹摘める人に札所の道を問ふ
- 巡礼の越えし峠の落葉踏む
- 結願の寺に鶯鳴きやまず
- 木枯しに縮む足先湯で溶ける霜柱童子の瞳真澄なる
- 力得し兜太の句碑や下萌ゆる
- 老いてなお彈む心や雛飾る
- 思ひ出は踊りの町へ渡し船
- 追儺祭町の名士の揃い踏み
- みの山に遊び秩父の春惜しむ

入選小人の部

山道の緑につつまれた水せん寺
滝の音葉のゆれる音気持ちいな
夜桜を照らす月夜の明るさよ
秩父にはかすみかかる山々に
冬の木ははっぱがおちてさむそだ

熊谷市 熊谷区 練馬区 さいたま市 新座市

松本 はな (十才)
佐々木 美穂 (十二才)
我妻 彩夏 (十一才)
小瀬川 碧 (十才)
込戸 日奈子 (十一才)